八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンター わいぐ」情報誌　2019. 6. 25　No.68

わいぐ WA～IGU

「WAIGU（わいぐ）」は、青森県南部地方の方言である南部弁の「私、行く（わぁ行ぐ）」という方言が元になっています。地域の課題に対して、市民が自主的に取り組む姿を、この一言に表しました。

八戸ペンクラブ

八戸ペンクラブは2003年5月に設立されました。仲間は現在50人余りですが、エッセイ、創作文、短詩型文芸、イラストを楽しむなど、さまざまな人たちが自由に作品をあみ出し、表現を模索しております。

週一回ですが「八戸会館」でコーヒーサロンを開き意見交換も楽しくくり広げております。サロンはあまりテーマを設けず、八戸の街づくり、文化、このごろ気になる世相の乱れなど自由な話し合いの場です。あなたも友人を誘い、一度のぞいてみませんか。

詳しくは3ページをご覧ください。

もくじ

★平成 30 年度わいぐ事業報告・コラム……２P
★表紙団体紹介・わいぐライブラリィ……３P
★WA～ＩＧＵ情報！……４P

平成30年度わいぐ事業報告

平成30年度はわいぐの様々な事業にご参加いただきましてありがとうございました。今年度もわいぐをよろしくお願いいたします。

【平成 30 年度わいぐ利用状況】

■情報交流サロン利用者数
4,596 人

■ワークステーション利用者数
1,197 人

総利用者数
5,793 人

わいぐ登録団体数 200 団体（平成 31 年 3 月 31 日現在）

	活動分野	団体数		活動分野	団体数
1	保健･医療･福祉	72	11	国際協力	3
2	社会教育	20	12	男女共同参画	3
3	まちづくり	15	13	子どもの健全育成	18
4	観光の振興	4	14	情報化社会	1
5	農山漁村･中山間地域振興	1	15	科学技術	1
6	文化･芸術･スポーツ	32	16	経済活動	0
7	環境	14	17	職業能力開発･雇用機会充実	1
8	災害救援	6	18	消費者保護	2
9	地域安全	1	19	市民活動団体支援	2
10	人権･平和	4	20	都道府県･市の条例で定める活動	0

【わいぐの事業】

市民活動サポート・カフェ

市民活動団体パネル展

わいぐ交流会

出番です！シニア世代 9

ペンネーム：北のおじさん

－「令和はちのへ新時代」－

４月に実施された八戸市議会議員選挙。投票者が 18 歳に引き下げられたにも関わらず 3%も低くなり、41%台という低さだ。

つまり 10 人中４人しか投票にいっていないことになる。「選挙が行われただけいいのでは」という、消極的な見方も出始めかねない人口減少の社会。

しかし、これは肯定したくはないこと。やはり定員以上の立候補者がいて競争し、頑張り抜いて当選。議会で潜在的な市民の声も取り上げ、活発に議論することが好ましい。一体なぜ？私達に身近な市議選でさえ、毎回投票率が低下してきたのだろう。

しかも今回は 18 歳以下の有権者の投票が認められての低下。これをしっかり分析し、棄権者の潜在的ニーズを把握。「令和はちのへ新時代」を築いてゆくことが望まれる。

思うにこれからは多額な公共事業は、必要最小限にとどめ、既存施設のメンテナンス。更にリフォーム、リサイクルを最優先し、広域で施設の相互利用を図り､その活用度を高めること。

三種の神器ならぬ三種の課題は長寿化、少子化､国際化時代に圏域民が「暮らしやすい」「住みやすい」を前提に「市民満足度」の高い都市を目指すことが求められる。

新しく仲間入り！ 登録団体紹介

八戸ペンクラブ

「ペンクラブって何をする団体ですか」とよく訊かれる言葉です。

「そうだね、何でもやりますよ」では真面目な答えにならないかもしれません。当八戸ペンクラブの規約には「不羈独立（ふきどくりつ…他から何の束縛も制約も受けることなく、自分の考えに従って事を行うこと）」の気概をもって意見を発表し・・・という少し難しい表現はありますが、その他は「目的に賛同する者は、誰でも入会できる」といたって平易なのです。

具体的にこれまで取り組んできた活動の、主なものの一つにペンクラブ創設 10 周年から始めた「文学への旅」があります。第一回は八戸市出身の芥川賞作家、三浦哲郎と石川啄木両氏の共通性を探る旅でした。

一泊二日の日程で参加者たちは東京・上野駅の啄木歌碑をのぞき、不忍池や深川、そして銀座、浅草など巡ったのです。もちろん、浅草の神谷バーでは『忍ぶ川』の名場面、名セリフを想い起こしながら銘酒・デンキブランでカンパーイでした。

一昨年は八戸市制 88 周年でしたが、小林多喜二が「蟹工船」を発表した時から、やはり 88 年でした。そこでペンクラブでは一般市民にも参加いただき、多喜二生誕の地、秋田・大館市へ足を運び現地の研究者たちと交流を深めたのです。

写真は第 1 回「文学への旅」上野駅　啄木歌碑

このほか、三陸では震災や津波と文学、原子力船「むつ」問題を特別テーマにも据え、一般活動としては文化講演会、トークイベントも毎年取り組んでいます。マチニワでの一箱古本市へは「はっち」で参加して以来ですが、今年も参加します。

恒例八戸ペンクラブ独自の古本まつりも読書の秋到来と共に開催いたします。読書好き、古書ファンの方はぜひお立ち寄り下さい。

なお、ペンクラブでは隔月、会報「八戸 PEN」を発行しております。

【問い合わせ先】

TEL・FAX 0178-25-2462(会長　吉田)

～わいぐの魅力～

身近な諸団体、文化結社の紹介がうれしい。わいぐ情報誌の直近号では国内外に誇る「安藤昌益資料館」の様子が伝えられました。

わいぐライブラリイ

わいぐでは、市民活動に役立つ書籍を設置しております。
スタッフのお勧めをご紹介します。

場づくりの教科書

著 ）長田　英史
出版）芸術新聞社

他者を演じず、空気を読まず、自分らしく呼吸できる場はありますか？場づくりの哲学と技術を体系的に学べる画期的入門書！

ボランティアコーディネーション力 第2版 市民の社会参加を支えるチカラ ボランティアコーディネーション力検定公式テキスト

著 ）早瀬　昇・筒井　のり子
出版）中央法規出版

ボランティア活動の展開に欠かせない「ボランティアコーディネーション力」を磨くために必要な知識、ノウハウの基礎を解説。日本ボランティアコーディネーター協会の検定テキスト。

WA~IGU 情報！

【助成金情報】

【公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金　2020年度 地域振興助成事業】

●助成の趣旨

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金は、地域の雇用創出や経済活性化を図り、地場産業の支援・育成に資するため、新興企業並びに更なる事業拡大を目指し新規事業参入や開発・研究を行う青森県内の個人、NPO法人及び企業等に対し、必要な費用を助成します。

●助成対象団体

青森県内の個人、NPO法人及び企業等で助成金給付後、事業・研究報告書を提出できる先とします。

ただし、過去3年以内（2017年度以降）に当財団の助成金の交付を受けた先は対象外とします。

●助成対象事業

⑴将来性の高い新規性、独自性のある事業
⑵独自の技術やアイディアを活かした新商品の開発又は新サービスを提供する事業の拡大
⑶地域貢献型事業又は中心市街地、商店街、共同店舗等の空き店舗等を利用して行う事業
⑷事業化・起業化・実用化が見込まれる技術開発や研究事業
⑸地域の農林水産資源等の特性を活用した事業
⑹環境ビジネス、リサイクル産業の振興及び環境に配慮した活動・普及・促進を図る事業
⑺その他、目的に基づき適当と判断した活動

●助成対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日までに実施する事業

●助成対象費用

対象となる費用は、申請される事業のみに要するもので、次のとおりです。

⑴助成事業の企画・研究段階から商品化、販売に至るまでの必要費用とします。
⑵その他、助成の主旨に基づき理事長が適当と認めるものとします。

●助成金額

⑴助成金額は、必要費用の2分の1以内で、かつ300万円を限度とします。
⑵選考において、申請金額を減額して助成決定を行う場合もあります。

●応募方法

申請書に必要事項を記入の上、関係書類を添えて、応募期限までに簡易書留にて当財団事務局に送付。

●応募期間

2019年7月1日～9月30日　※期限厳守

●書類の提出先及び問合せ先

〒030-8622
青森市勝田一丁目3番1号
公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金
TEL：017-774-1179　FAX：017-774-2591
URL：http://www.michinoku-furusato.or.jp
E-mail：kikin@michinoku-furusato.or.jp
※HPより応募要項と申請書をダウンロードできます。

紹介団体からの 一言マメ知識

青森県内には八戸市のほか、青森市と弘前市にペンクラブがあります。青森ペンクラブは八戸と同規模、60人余ですが、弘前ペンクラブはもっと多く、図書館など市の施設の指定管理者となる“実力派”です。（このところ、「三沢ペンクラブ」の存在も注目です）

この三つのクラブが交代で、各市にて年一度、交流会を開いてきました。昨年は「本の街・八戸を“本音”でトークしよう」とのテーマで小林眞市長にも参加いただきました。

八戸ペンクラブ会長（吉田徳寿）は日本ペンクラブの会員でもあり連携をとっておりますので、中央志向の方はご相談下さい。

編集発行：八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンターわいぐ」
発行回数：年3回（6月、10月、2月）
〒039-1166　八戸市根城8-8-155　総合福祉会館3階
TEL：0178-73-3311　FAX：0178-73-3312
E-mail：supo-cen@htv-net.ne.jp

★わいぐホームページも随時更新中！ http://www.htv-net.ne.jp/~supo-cen 見てね♪